

Google Analytics設定手順書

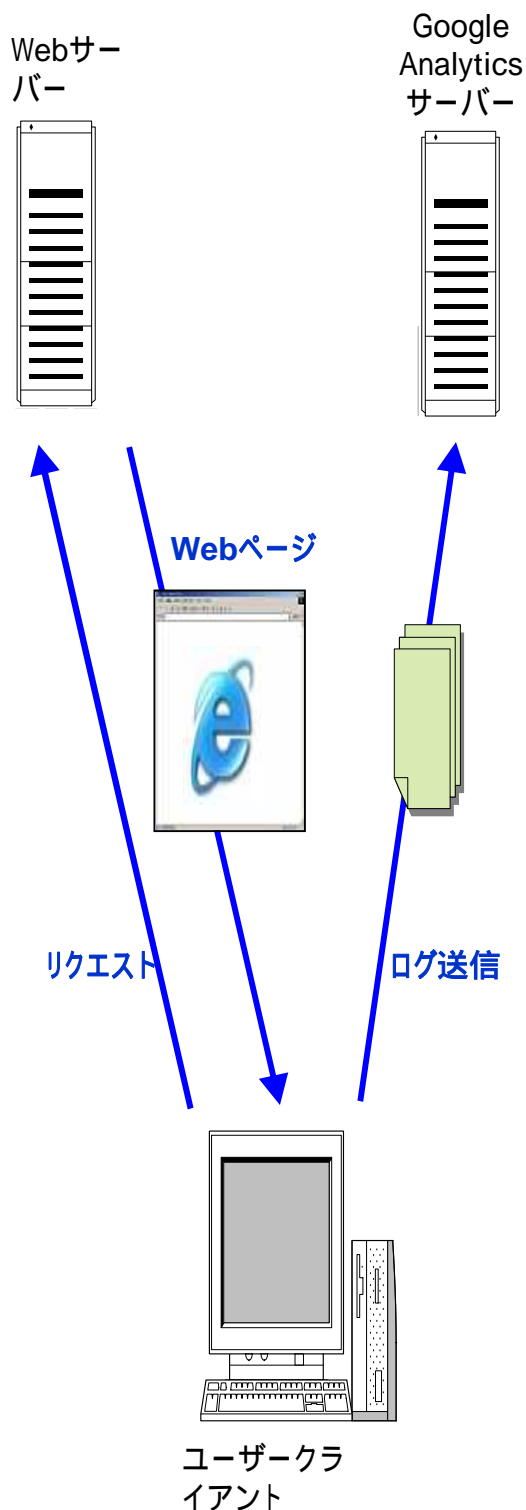
株式会社サービエンス

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-4-7ParkAxis渋谷603

URL <http://www.servience.co.jp>



仕組み



利用上のデメリット

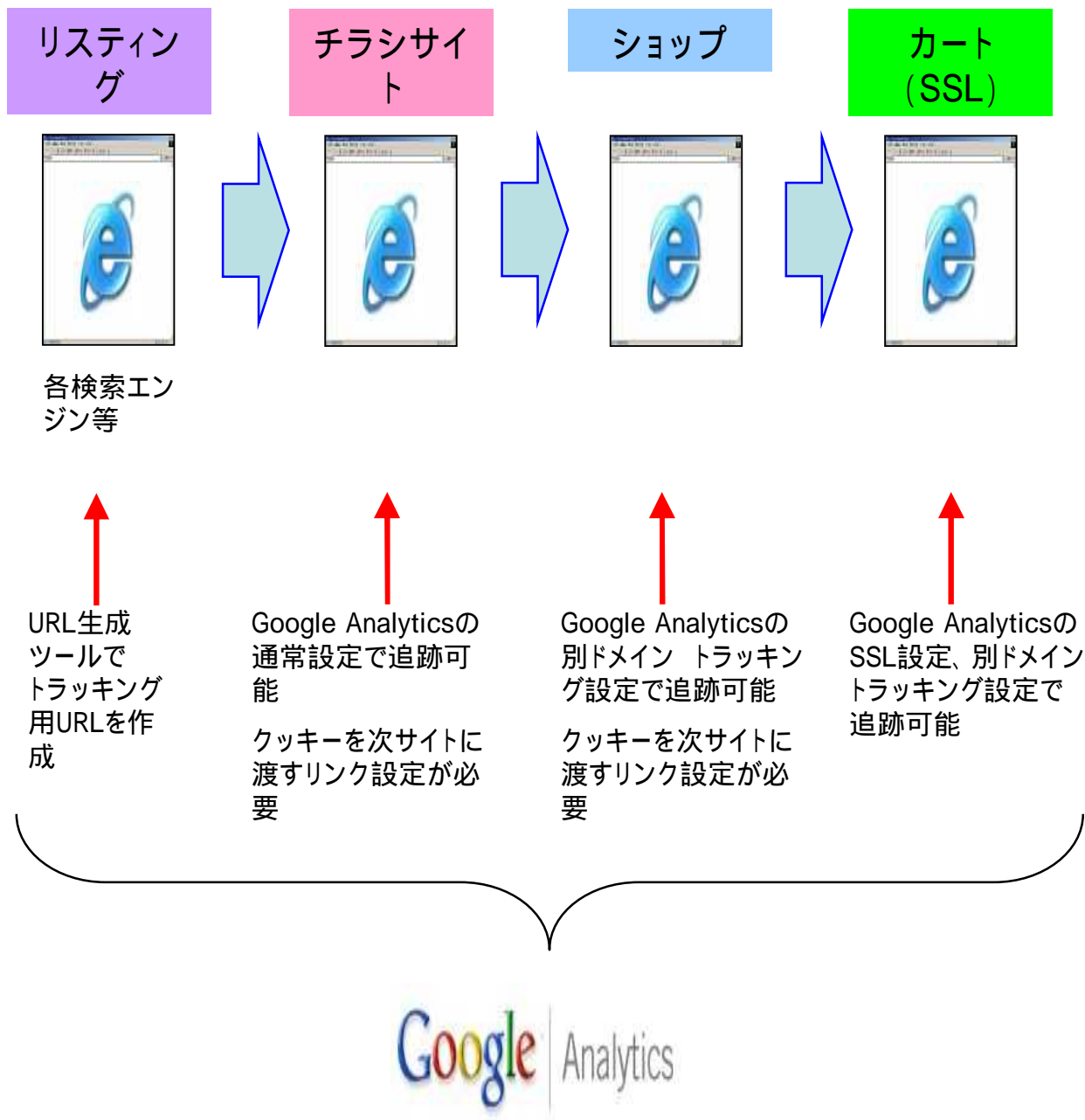
ログの取得ができない場合がある。

サーバーに蓄積するアクセスログ取得方式ではないスクリプト利用方式を用いているため、下記2点のようなデメリットが発生いたします。

- ・ユーザークライアントがセキュリティソフトなど何らかの理由でJAVAスクリプトをOFFにしている場合、左図が行われず、ログの取得できません。

- ・スクリプトが実行できる環境以外からの閲覧(現状では携帯電話、PDAなど)ではJAVAスクリプトが実行されず、左図が行われなためログの取得できません。

ユーザーの辿るサイト(ドメインごと)



<http://www.google.co.jp/support/analytics/>

チラシサイト

現在サイト内に存在するページすべてにタグを設定します。

サイト外については必要なページにだけ設定すれば計測できます。

ログ解析での主なチェックポイント

セッション数とPV数の関係から、注文ページまでの導線のボリュームを調整する。

人気のあるページやページ移動をチェックする。

各ページでの離脱率を計測し、導線のチェックをする。

ページ内の各リンク(特に同一リンク先を持つもの)についてそのクリック率をチェックし、どの部分がホットスポットかを把握する。

ショップ

チラシサイトの /item などから閲覧できるすべてのページにタグを設定します。

人気商品、有効なリンクの見極めなどに利用できます。

カート (SSL)

サンクスページにタグを設定します。

コンバージョン設定により、サンクスページへのルートを検証できます。